

第 5 回議会報告会概要報告一覧

担当班	開催月日	開催時間	場 所	出席者数
1 班	11 月 14 日 (水)	19:00～20:55	磯鶏公民館	8 名
	11 月 15 日 (木)	19:00～20:50	川井保健センター	16 名
2 班	11 月 14 日 (水)	19:00～20:40	重茂公民館	11 名
	11 月 15 日 (木)	19:00～20:50	花輪農村文化伝承館	13 名
	11 月 16 日 (金)	19:00～20:30	グリーンピア三陸みやこ 仮設住宅集会場	8 名
3 班	11 月 14 日 (水)	19:00～21:00	弘川地区会館	8 名
	11 月 15 日 (木)	19:00～21:00	山口公民館	4 名
4 班	11 月 14 日 (水)	19:00～20:30	鍬ヶ崎仮設集会所	11 名
	11 月 15 日 (木)	19:00～20:30	千徳公民館	9 名
	11 月 16 日 (金)	19:00～20:40	宮古市役所	13 名
5 班	11 月 14 日 (水)	19:00～20:40	崎山公民館	10 名
	11 月 15 日 (木)	19:00～20:55	新里福祉センター	13 名
	11 月 27 日 (木)	19:00～20:50	鍬ヶ崎仮設集会所 (第 2 回)	12 名
計			12 カ所 (13 回)	136 名

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 24 年 11 月 14 日（水） 19 時 00 分～20 時 55 分 会場：磯鷄公民館	8 名	〔1 班〕 松 本 尚 美 崎 尾 誠 古 館 章 秀 高 橋 秀 正 北 村 進
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
JR の鉄路での復旧問題がある。	JR は民間であり復旧の事業費が莫大にかかる。三鉄の災害復旧費には公費が支出される。JR は民間であるので自前で復旧しなければならないが、JR や沿線自治体の負担とともに国に支援を求める議論がされている。	
総務常任委員会の富山市への視察は、ライトレールの視察ですが、宮古市に導入できると考えての視察か。	宮古市にはライトレールは現実的ではないと感じた。富山市とでは人口規模が違い、難しいと感じた。富山市では、「万葉線を守る会」など民間も出資しており積極的に取り組んでいる。宮古市では、商店街と協力して利用すればスタンプを配るとか、三鉄や JR の集客に向けての手立てが大切だ。BRT は議会では反対の意見書をあげている。	
震災から 1 年 9 ヶ月経過し、近内などで新築すれば 2000 万円要する。高台移転は 4 ～ 5 年と時間がかかる。大槌・山田町では、自力再建に対して補助しているが宮古市にはあるのか。	高台移転は 27 年、かさ上げ地への移転は 28 年から住宅建築可能。陸前高田市は高台 300 万円、水道工事に 100 万円補助制度を作った。9 月議会で市長は 12 月には何らかの補助制度を示したいと答弁している。 支援金は合わせると 400 万円。制度は延長になるだろう。	
磯鷄の短大のところに災害公営住宅を早く建ててほしい。仮設住宅の多くは災害公営住宅を希望している。	災害公営住宅の建設は、八木沢団地と河南の間を予定しているようだ。用地確保に時間がかかっている。仙台方式は、民間業者に委託する方式をとるなどの方法で早いようだ。 仮設住宅が建っているところは公有地がほとんどで、災害公営住宅の用地が少ない。	
市営球場の再建について現地再建はあるのか。	現在のところはありえない。再配置を考えていかなければならない。	
市役所内の議会全館放送は、場所によっては市民の対応を優先するために止めてもよいのではないか。	全館ではなく部分放送が可能か検討する。	
防災無線の子機を要望する。	（要望）	
胡瓜沢はいつ着工するのか。	現在、設計中です。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
煙突山の調査は何のためか。木が大きくなってきた。	西道路の調査です。都市計画では決定したが財源の問題があり進行しなかった。復興道路として実現が早まる予定です。
松原公園はいつから使用できるのか。	工事完成検査が終われば使用できる。
石崎周辺に街灯がほしい。 磯鶏旅館のはす向かいに街灯をつけるために町内会で電柱を建てたが、震災で斜めになっている。市役所に相談したら、「磯鶏石崎町内会で建てたから自治会で何とかならないか」と言われている。何とかならないか。	必要な街灯は自治会を通して要望するルールとなっている。 再度町内会で話し合ってみてください。
議会報告会の参加人数が少ない、議会の努力が足りないのではないのか。前回も言ったが改善されていない。何か考えないといけないのではないのか。 議会傍聴も少ないので、議会に対する関心が低い。 自治会長への案内文書の文言が、会長が来るようにと捉えた。	中学校学区であり、もっときめ細やかに開催すれば人も集まるのではないのか。 報告会のあり方について検討していく。

【議員定数について】

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
時代の流れは定数削減だが、減らせばよいという問題ではない。選挙区が広くなり、面積も考えなければならない。減らすことによって弊害もあるのではないか。地域の声を拾い上げることも議員の役割である。国単位で考えると宮古みたいな僻地は切り捨てられているように思う。川井まで宮古市となったが、少ない議員の数では一人の負担が大きいのではないか。	宮古市は広いが全市１区で、どこの地区の代表ではない。
議員選出は人口の多い地域が有利である。地域が広い、地域の声を拾い上げているのか。地域割りでの選挙でもよいのではないか。	面積、財政、人口も考慮しながら、どのぐらいの定数が適当と考えるか。現在は４つの常任委員会がある。議会がチェック機関として機能するには一般的には常任委員会の定数が７人から８人が望ましいと言われている。また、質の問題もある。専門性も求められる。女性の視点や年代ごとや若者の声を活かすために必要な人数も考慮する必要がある。
一般的に市民は議員が少ないほうが良いと考える向きがある。人数が少なければ一人の負担が大きい、人数が多ければなかなか物事を決めることが難しいのではないか。 市民が定数を決めることは難しい。	(意見)

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
質の問題を聞かれても我々市民はわからない。人口の少ない地域から立候補しても多い地域から比べると現実的には不利。 最初はみんな１年生。勉強して１期２期と重ねていくうちに初めて一人前になる。	質の問題は現実的にある。キャリア・生業の分野は得意だが、それ以外は難しい。議員だからといって全てわかるものではない。得手不得手もある。 執行をチェックする役割がある。 宮古市の議員の選出の特徴は、都会型の選挙ではない、人のつながりの強い地域である。組織や団体の意見を反映する議員もいる。そのなかで、公費負担の選挙は、様々な人が参画する機会を広げる意味もある。お金のかからない選挙。誰でも立候補しやすい環境をつくる必要がある。
議員は立候補するにあたり意志をもっているはずであり、質の問題は議員の勉強による。議会は合議制で立っている、自分の意志で立候補している１年生であれ政策を論争する場が議会である。質の問題は当選回数ではない。	議会の役割は従来チェック機関の役割が大きかった。しかし、地方分権の流れの中で、今求められているのは自分たちのことは自分たちで決めていくことである。議員や議会が政策提言をしていくこと。自分で調査し政策提言をする、そして議会が合議制で最終的には多数決で物事を決めていく。議員個人・オール議会としての政策提言が求められてくる。しかしながら議会には予算権がない。市政チェック、政策提言が議会の役割である。

【選挙公営制度について】

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
選挙公営の公費負担は国から予算がくるのか。	市の予算です。市の予算は交付税で措置もされている。自主財源は４０億程度、３割自治を切っている状況の中で公費負担の選挙公営はどうかという問題もある。 資料２－P3 選挙公営制度を適用した場合の試算は、公費負担の上限はあるが、仮に立候補者が３２人だとおよそ３０００万円かかる。選挙公営を行っている県内の他の市町村で問題もあったがモラルの問題である。 逆に言うと現在最低およそ一人あたり１００万円はかかる。供託金の３０万円もある。
議員報酬を下げるという風潮があるが誰も出なくなる。ある程度の報酬は保証しなければならない。質が落ちる。	実際の議員としての活動は何日あるのかといった考えもある。日当制のところもある。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 24 年 11 月 15 日（木） 19 時 00 分～20 時 50 分 会場：川井保健センター	16 名	〔1 班〕 松 本 尚 美 崎 尾 誠 古 舘 章 秀 高 橋 秀 正 北 村 進
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
鳥獣被害についての議員の認識を問う。シカによる車両事故や農作物への被害が多くなっている。熊の人的被害が 2 件あった。猛獣と共存は難しいと思うので対策が必要と思う。遠野市では「仕掛け」を貸し出していると聞いている。	里山の回復が必要である。被害対策として、岡山市では市の職員に猟銃の資格をとるように推進している。当市では猟友会と協力しながら進めている。	
国保会計の国保基金保有状況が 3 年連続して 11 億円を超える状況であるので私は議会だよりに掲載されている、反対討論に賛成。議会での議論をもっと深めてほしい。合併前から宮古市の基金残高は県内でも多い方だった。保険税を安くするべきだ。未納額も 4 億円ほどあり、未納額も多いので保険税も高いのではないか。	田老地区は合併によって大幅な国保税の値上げとなった。 過去には経済状況も考慮し国保税を下げ、3 年継続した経緯もある。 23 年度は震災対応として減免もあったが、これ以上基金残高が増えることは望ましくない。	
自治会で国道 340 号線の美化運動として道路脇に花を植えたいと考え、市の担当課に補助を問い合わせたところ、道路なので対象にならない、公園なら良いとの回答だった。公園だけということであれば川井には 1 箇所しかない。宮古地区にはたくさん公園があり地域格差ではないか。側溝の脇に花や苗木を植えたいと思ったが補助金はだめだと言われた。	田老地区では国道に花いっぱい運動で花を植えている。申請して花苗を市から配布されている。花苗はよいが樹木は難しい。	
国道 106 号線脇に花を植えようとしたが県は許可しなかった。	（意見）	
市の清掃活動に協力し古タイヤを回収したが、許可業者が回収しなかった。その後、市の職員が 3 人でわざわざ回収にきた。無駄ではないか。	（意見）	
復興道路が整備され高速化（直線化）されることによって、従来の国道 106 号線は旧道となる。旧道を観光道路として整備してほしい。単なる通過点になってしまう。	川井地区だけではなく全区間で起こりうる問題である。過去には道路改良された結果、格下げとなった道路がある。国道 106 号線沿いは旧道を含め、秋の紅葉シーズンは観光資源となる。道路の整備とともに観光面で地域の振興につなげていきたい。立丸峠のトンネル化では、交通量の増加が予想され、トイレ等の施設も必要となる。民俗資料館や漆工芸館など、観光面などで有効に活用できるよう進めていきたい。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
議会報告会は地域と議会が接する機会であり数多く設けてほしい。政治を身近なものにするために、報告会は有効である。	議会基本条例に沿って、報告会を開催し市民の皆さんと意見を交換している。

【議員定数について】

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
人口からいくと現在の定数は多い。	定数の上限は撤廃された。自分たちのことは自分たちで決める地方自治の流れになっている。
議員定数をどうするかよりどう人口増を図ることが大事だ。宮古地区は住むには暖かくて良い、住宅を建てて人口増を図るべき。遠野の人口はドーナツ現象ときく。川井の人口は現在 2800 人、高齢者が多い。	人口は減っている。平成 35 年には 4 万人になるという予想もある。予算の 1 %が民主主義における費用負担だといわれている。人口減もあり自主財源も 3 割を切って 2 割 5 分の状況である。執行機関との関係からいうと定数減は、チェック機能を十分に果たすことができるかどうか。多様な意見を反映するために適当な定数はいくつなのか。逆に多すぎると決定に時間がかかる。現状維持・減らすにしろなぜそうするのかという理由が必要だ。 議会の役割として政策提言をできる議会、議員とならなければならない。反問権を認めているのは発言に責任を持たせるためである。
小選挙区制をとっているわけではないので、定数が多いのか少ないのかわからない。議会の考え方を示してほしい。	定数を 28 から 27、26 と減らしたからといって現状が大きく変わるものでもない考える。
チェック機能が不足しているのか、地域振興のための定数は充分なのか。	有権者、市民団体等からの要求運動で定数を減らすのではなく、議会の自主的判断が必要である。
住民の声を十分に聞くためにも減らさない方がよい。	(意見)
基本的に減らすことに反対。	(意見)
行政サービスに対し、市街地と川井の住民の考え方が違う。住民の声を拾い上げるシステムをつくってから定数を考えていくべきではないか。	住民の声を反映させるために 4 つの常任委員会を設けている。例えば農業問題であれば、経済常任委員会が出向いて市民のニーズを吸い上げる活動をする事になっているので申し入れてほしい。
各班に各常任委員が報告会のメンバーとなっているのか。	その通りです。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 24 年 11 月 14 日（水） 19 時 00 分～20 時 40 分 会場：重茂公民館	11 名	〔2 班〕 須賀原 チエ子 竹 花 邦 彦 加 藤 俊 郎 田 中 尚
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
高台移転についてだが、里地区の用地補償（買い取り単価）はいくらぐらいか。 個人的に単価提示された方は、山林が 150 円/㎡ぐらいから 600 円/㎡ぐらいと聞いた。安過ぎる。	買い取り単価は不動産鑑定士の評価に基づいての提示だと思う。 音部地区の防集についての予算総額は 2 億 4 千 70 万円だ。	
災害危険区域の 1～3 種に指定されても既に仮契約した所の建築制限は該当しないと聞かどうか。	建築制限（宅地として）されると思う。	
行政視察は市政にどのように反映されているのか。報告がないがどうか。	総務・教民の行政視察を説明。報告書を議長に提出しているので閲覧願いたい。	
市民病院の新設の提案を一般質問でした議員がいた。いかがなものか。	（意見）	
宮古市議会は奥尻島視察をしたが、どう市政に反映したのか。	奥尻島の復旧・復興について研修してきた。それを参考にしながら市側へ特別委員会としてまとめた提言をした。	
里地区に街灯を	（要望）	
里地区の避難場所の要望	（要望）	

【議員定数について】

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
減とすれば、予算的には効果はあるが、地域・市民の声が届かなくなる。地域の要望を伝えてくれる議員が必要だし、削減しないで、復旧・復興に尽くすべきだ。	（意見）
民生委員が減った時は、マイナスがあった。議員が減ったらもっとマイナスになるし、市職員の管理もできなくなる。市民との対話を重視する議員を要望する。	（意見）
災害復旧・復興のためには減らすべきではない。	（意見）

【選挙公営制度について】

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
市の財政と関連すると思う。財政を悪化させないようにすべきだ。	（意見）

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 24 年 11 月 15 日（木） 19 時 00 分～20 時 50 分 会場：花輪農村文化伝承館	13 名	〔2 班〕 須賀原 チエ子 竹 花 邦 彦 加 藤 俊 郎 田 中 尚 中 里 榮 輝
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
何年か前に水害（床上 30 cm）があったが、田鎖自治会で水害対策の要望を出したら、ポンプでも対応を考えたいとの事だったが、どうなったか。	当局へ伝えます。（対応済）	
水害対策については、1 ヶ月前にも市長に要望している。長沢川の水位が上昇すれば水路からあふれる。対策を願いたい。	当局へ伝えます。（対応済）	
田鎖地区のパンチ工業の脇道の交通量が多い。田鎖～松山間で事故が多発している。どうにかならないか。	もうすぐ新開伊川大橋が開通するので様子を見てほしい。	
田鎖地区では防災行政無線が聞き難い所がある。	危機管理課に直接伝えてほしい。	
老木の排水路のどろ上げを建設課に要望している。	建設課へ伝えます。（対応済）	
農協から花輪鉄工所前までの路肩が下がっているので整備をしてほしい。また、歩道も傾いているので直してもらいたい。当局にも伝えているが・・・。文化伝承館前のガードレールの取付ボルトが外れている。	建設課へ伝えてもらいたい。	
田鎖地区の水害対策の件は早期に対応してほしい。	（要望）	
「議会だより」はよく読むが、一般質問記事はもう少し正確に記載してほしい。賛否についての討論はよい。委員会活動の報告は記述が尻切れトンボだ。30 号の決算報告の執行率の増減の記事は理解できず、議会事務局へ問い合わせた。26 号の特別会計積立金に誤りがある。訂正を（27 号）ですべきだ。金額が千円単位は読み難い。万単位にしたらどうか。	（意見）	

【議員定数について】

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
宮古市の女性議員は立派だ。市長との懇談会をもってほしい。議員（議会）の考え方はどうか。	現在、議会では、議論中だ。皆様の意見を参考にしたい。
市民の意見を反映させるためには、減らすべきではない。合併して広い宮古市になり、議員定数の減よりも増と考えるべきではないか。	(意見)
市長、議員ともにしっかり仕事していると思う。減らすべきではない。	(意見)
議員定数の議論よりも人口を増やす、働く場所を増やす議論をしてもらいたい。	(意見)
全国的に見れば多いかもしれないが、震災対応を考えれば現状のままで。	(意見)
多いかもしれないが、市民の意見がどう反映されているかだ。	(意見)
現状でよい。	(意見)

【選挙公営制度について】

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
選挙費用を公費負担でもいいが、今までどおりではどうか。	(意見)

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 24 年 11 月 16 日（金） 19 時 00 分～20 時 30 分 会場：グリーンピア三陸みやこ 仮設住宅集会所	8 名	〔2 班〕 須賀原 チエ子 竹 花 邦 彦 加 藤 俊 郎 田 中 尚 中 里 榮 輝
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
建築制限について、具体的に決定するのはいつか。市民への周知方法はどうか。	市の説明では、11 月から順次示す。今年度中に全地域終わりたい。決定したら住民説明会をするようだ。	
第 1 線堤の位置が変更になり予想浸水深が示されたが、その後の変更はあったのか。	県の事業だが、議会への説明はない。	
第 1 線堤はコンクリートの中に詰めて、根巾が狭いものだと説明を受けたがどうか。	先日田老地区で行われた県の説明では台形状のものだった。	
防潮堤の形状など変更があれば浸水深も変わるのか。建築制限区域も変わるのか。	そのとおりだと思う。	
復興計画どおりに進んでいるか、工程表どおりに進めてほしい。	用地取得が順調にいくかどうかポイントだと思う。	
国の特別加算金の期限延長をしてほしい。	議会としても延長をお願いしていく。	
災害危険区域でも一定の整備をすれば家を建てられるのか。	条例上はそうに理解すべきだ。	
野中地区の土地の境界はわかるか。	国調は終わっている。境界は分かるのではないと思う。	
仮設住宅に 75 の空室がある。貸せないか。有効利用すべきだ。	家族の人数や年齢（中学生まで下げた）によって入れる。建築住宅課に相談してもらいたい。担当課へは伝える。	
趣味で集まっている人々に使わせるべきだ。	県の判断は厳しいが交渉したい。	
仮設住宅入居については、不公平感を覚える。どうにかしてもらいたい。2 世帯ひとつ家に住んでいた。一世帯は公営住宅、一世帯は自家に住みたいが可能か。	当局に伝えます。	
単身世帯だが、2DK 以上の災害公営住宅入居は可能か。	当局に伝えます。	
住まいの再建への支援はどうか。陸前高田では、550 万円、大槌では 150 万円出すようだ。	市では検討中なようだ。12 月議会待ちだ。そのように頑張りたい。	
田老地区では、まちづくり協議会という住民組織を立ち上げた。田老地区の復興後のまちづくりを議論し取りまとめて市へ提言したい。議会も応援してほしい。	(意見)	

【議員定数について】

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
議員定数に現状維持でよい。	(意見)
減員すれば田老地区への影響はどうか。 宮古市の面積は広いので、現行どおり減らしても2名か。	(意見)
活動できる人が選出されたいが現行でよい。 地域のためになる議員が必要だ。	(意見)
今のままでよい。	(意見)
活発に動く議員がいるので今のままでよい。	(意見)

【選挙公営制度について】

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
今まで公費負担がなかった経緯は。	当時、議員は自らの資金で立候補すべきとの考えもあった。時代が変わり考え方を考える必要を感じる。
震災の状況で公費負担はいかなものか。アンケートを取れば否定的な意見が多いただろう。	(意見)
復興交付金が必要な所に手当されるように議会・議員は努力すべきだ。それを前提に公費負担は賛成だ。	(意見)
定数減と公費負担がセットでの説明は何か意図があるのではないか。いかなものか。県内の状況を見れば負担すべきだ。	(意見)

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 24 年 11 月 14 日（水） 19 時 00 分～21 時 00 分 会場：弘川地区会館	8 名	〔3 班〕 長 門 孝 則 近 江 勝 定 高屋敷 吉 蔵 内 舘 勝 則 坂 本 悦 夫
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
前回の記録を見ていただければわかると思うが、三陸縦貫道の前の 4 5 号線の渋滞解消対策について改善してほしいと要望しましたが、どうなったのか。	内容を調べて対処方針等回答します。 （後日回答） 今のところハード面での渋滞緩和策は考えていないが、千徳大橋の供用開始、宮古西道路、三陸縦貫道の整備によって、交通量が変わってくると思うので、ご了承願いたい。	
仮設住宅に入っている人の名前を教えてほしいとお願いしているが、個人情報の理由で教えてくれないので、荷竹自治会では大変支障をきたしている。岩泉町では、同期の安否を尋ねたが直ぐ教えてくれた。この差は何なのか。具体的には、モノをもっていっても配達できません。たいへん、困っていますので何とか改善できるようお願いしていただけないか。	我々自身も議員個々にもお願いしているがいまよくない現況にあるが改善策を見出せるよう働きかけていきたい。 プライバシーの問題はいつも課題です。コミュニティの情勢を阻害している側面もあるので課題として受け止め改善できるよう市当局に働きかけていきたい。	
同様な面で他市から入居している入居者のゴミ出し、除雪等のマナーが悪い。山田や大槌から仮設に入っている人や、ボランティアで来ている方は一番マナーが悪くあきれるぐらいだ。ゴミは決まった日には出さない。決まりに関係なく夜中でもいつでも出す。誰がやっているかわからない。改善策として荷竹自治会では、ゴミに名前を書いて出すようにお願いしているが守ってくれない。市役所の職員にも話したが改善が見られなく困っている。何とかしてほしい。その人たちは宮古の人には関係ないという意識だ。宮古に手伝いに応援しているという考え方もわからないわけでもないが、仮設住宅に入っている以上はルールを守っていただくことが社会生活で共生することで大事だと思うので改善策を望む。	仮設住宅の入居者のマナーの問題であるが深刻な問題と受け止めました。担当課等にもこの点について照会し、何とか改善策を見出していききたい。	
クマが最近出没するので防災無線で放送し、注意するよう呼びかけてほしい。子どもたちの登下校時の事故が心配だ。	当局にスムーズに対応するよう伝えます。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
赤前のことだが、路線バスを走らせていただいてありがたく感謝いたします。それで、その途中に避難路になっている小学校があったところ（停留所のところ）に街灯がない。裏の細い道路で避難路にもなっており、特に夜道が危ないので街灯をつけてほしい。市にお願いしたら電柱を立てれば街灯をつけてあげるといわれたが、通常の際であればそのように対応してきているのだが、震災復興の一環でつけることができないか。お願いしたい。	仮設のほうには建てていただいたが、場所を見せていただき、市の担当課に伝え回答させていただきます。 通常の場合は、電柱のあるところに建てると指導していますが建てられるよう担当課に伝え回答します。 （後日回答） 震災復興の一環として、市側で電柱を建てて街灯を設置したいとのこと。
復興のことだが、どの位進んでいるのか情報が伝わってこない。焦って出て行く人も出てきた。話ばかりで実際は全く進んでいない。	地権者の問題もあり、公営住宅の建築は進んでいないのが現状だと思います。
やり方が別じゃないかと思う。宮古市の高台移転は用地問題等で進んでいない。地権者に事前に予定箇所であることを告げて事前に了解を取っておくことが大事だ。事前に念書を取っておけば、スムーズにいくと思うが、宮古市や県の進め方にも問題があると思う。「浸水地域にどうぞ住宅を建ててください、責任は行政ではとりません。」ではおかしいのではないのでしょうか。	当局に伝えます。
派遣職員と市の職員とセットできてほしい。他県の方は、臨機応変な対応ができない。他県の職員ばかりくると、境もわからない。地形や土地勘がないので市職員と一緒に来ていただければ時間をかけないで解決できる。仕事が早くできると思います。	やりかたの問題もあると思うので、当局に伝えます。
仮設住宅は民有地を借用するなどして、私有地の公園を残しておけばよかった。公園等を仮設住宅に利用しなければ公営住宅の用地が確保できた。	緊急な中でも先を見通した進め方が出来なかったことが反省点だと思うが、いずれ用地問題は早く解決して、公営住宅の建設が円滑に進むように当局に伝えたいと思います。

【議員定数について】

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
地元出身の議員がいないよりはいたほうが良いという考えだと減らさないほうが良いという考えになる。一番は、本気になって働いていただく議員であれば良い。	議会では、減らしたほうが良いという意見があるが、あまり減らしてもどうかという問題もある。
市議会議員よりも国会議員を減らすべきだ。	(意見)
定数減を前提に考えてくれということであれば、全体からみれば多いのではないかと思う。3名減の25名位が良いのではないか。	旧川井村との合併前は、2名減の26名にしようという考えであったが、旧川井村と合併で28名の定員になった経緯がある。これは、面積も広くなるし有権者の声を反映させるためという意図もあった。現在は定員が28名だが1名欠員で27名である。
他の市が少ないから減らすという論理ではなく、宮古市としていろいろな面を考慮して一番何人が適正な人数なのか判断して決めてほしい。一般市民に問いかけられてもわからない。議員本人が一番わかっていることなので、議員間で十分議論して真摯に考えてもらったほうが良いのではないか。	(意見)
9月の定例会の議員の出席率は何%位か。欠席者もいるのか。	今回の9月定例会は病欠で1名欠席者がいたが、いつもは100%の出席率である。
議員は都市部に集中しているというイメージがあるがどうか。偏りが無いのか。これまでも活躍された議員が川井地区にもいると思う。それを思えば、市民の声が都市部だけで、各地域の声が議会に十分反映されていないのではないか。	都市部には27名中2名だけである。前回は、花輪地区から5名の議員がいた。現在は、川井地区と新里地区から2名ずつ出ている。多いか少ないかは人数だけでは判断しにくい。議員が全市的な考えにたって市民の声を反映させることが大事だと思います。
定数減の方向で話を進めてもらいたい。今までの話を判断すれば25名で進めてほしい。	今までの意見を総合的に判断すると、結論的には議員定数の件については、28名より減にすべきとの意見が多いとの感想です。

【選挙公営制度について】

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
公費負担することは賛成だ。候補者によっては、ポスターを貼っていない候補者もいる。あまり好ましいことではない。	皆さんの意見を尊重し、今後の協議の参考にさせていただきます。
今まで宮古市だけが負担していないということは素晴らしい取り組みと評価するが、ポスター代ぐらいは公費負担すべきだ。ポスター貼りについても候補者全員分を役所で貼ったらどうか。	(意見)

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
宮古市だけ負担していないというのは、一見改革の先端をいっているようにも思われるがそうではない。宮古市のことを一所懸命頑張っていたくわけだから、他市と同様一律公費負担すべきである。ただ、他市もこうだから右ならいで行うというのではなく、宮古市としてのあるべき論でなければ、何で今の時期に行うのかなど市民の理解が得られないと思う。	(意見)

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 24 年 11 月 15 日（木） 19 時 00 分～21 時 00 分 会場：山口公民館	4 名	〔3 班〕 長 門 孝 則 近 江 勝 定 高屋敷 吉 蔵 内 館 勝 則 坂 本 悦 夫
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
今、宮古市で生活保護給付費はどのぐらいか。 できれば、1 人当たりの給付額はいくらか。	総体で 4 億 4 千万円位です。生活保護世帯はそんなに増えていない。	
高齢者医療費は、1 人あたりはいくらか。	1 人 4 万 5 千円 574 円です。年金をもらっている差引きとなりますので支給されるのは少なくなる形にあります。 医療補助は 7 万 7 千円です。	
生活扶助費に対する全市町村の取り組みが先日新聞に載っていた。議会報告会のあり方に関係することだが、具体的にテーマを絞って、今回は生活扶助費について意見交換しますというようにテーマを示して開催したほうが良い。	何とか工夫して進めてまいりたい。	
ある議員が質問スマートコミュニティについて質問されていることについてだが、こんなことが宮古市でできるのか。首都圏ではともかく、それよりも宮古市で今必要なのは、復旧復興である、多額の予算を使うのであれば今市民が必要とされている公営住宅を早期に建設すべきだ。 ノウハウが無い宮古市でスマートコミュニティ事業に取り組むとすれば、外部へ殆ど委託することになるのではないか。その委託料の財源は国からの補助金が出るといっても行き着くところは市民の税金なわけだから、使い方がもったいない。 設計の委託料がかかる。スマートコミュニティは宮古市には向かない。	宮古市では、スマートコミュニティ事業の実施については、応募して採択されれば実施するというスタンスです。東北だけでも 8 つ位の自治体で応募していて採択されるかどうか未知数です。今回の震災を受けて電力の地産地消が課題とされており、宮古市の電力資源の可能性を探りまちづくりに活かそうという考え方です。事業実施に当たっては、できるだけ民間活力を進めるとことです。当初は、10 月ごろをメドに応募の採択があると聞いておりますがまだ結論は出ていません。一方、この事業とは別に、民間サイドでバイオマス発電所とか風力発電が計画され進められているようです。これは、電力の買取制度が出てから急速に進められていると受け止めています。	
メガソーラーを各自宅に設置しようという取り組みが業者主導であります、メガソーラーの取り組みがあるのでしょうか。	スマートコミュニティでは、田老地区に大規模な施設として候補に上がっているようです。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
私は、山口小学校の避難所で代表の立場にあったが、市長、議長、秘書が来た際挨拶もしないで帰って行った。民生委員も南町の民生委員一人だけだった。残念なことに議員は誰も来なかった。被災者の安否を気遣うとか市民誰もがそういう気持ちになると思う。避難所では物資を待っていた。山口小学校は 430 人収容でしたから、校庭にスコップで土を掘ってトイレを作らなければならなかった。	(意見)
定年制の延長で 65 歳まで働くことになる。2013 年から 2015 にかけて年金が減額になる。厚生年金は 6 万円の減、国民年金は 1 万円減、市民の生活が日々疲弊してきている何とかしてほしい。	(意見)
市議会議員報酬を日当制にすべきだ。一日の日当を 1 万 5 千円でもいいと思う。月額報酬よりは歳費は抑制される。	(意見)
市民感覚からすれば、議員のボーナスとは何ぞやという考え方にたつ。議員のボーナスは必要だろうか。	(意見)
宮古市のガレキの処理状況はどのようになっているのか。進捗状況を知らせてほしい。	詳しい数字は持ってきていないので調べてお知らせする。 (後日回答) 災害廃棄物の推計量 457,000 t のうち、119,000 t が処理済みで、進捗率は 25.9%となっており、平成 26 年 3 月までに完了する予定。 津波堆積物の推計量 275,000 t のうち、25,000 t が処理済みで、進捗率は 9%となっている。
宮古市の高台移転はなくなった。今までの協議や話し合いは何だったのか。田老も地権者が反対している。	(意見)
道路関係や高台移転は早急に進めてほしい。	(要望)
街が様変わりするような工事が横行している。街を歩いて異様に感じる。宮古市のまちづくり計画にないものがどんどん作られている状況を不安に感じる。生きた情報がわからない。市できちっとした情報開示をすべきではないか。	民間で進めている内容は把握できない面もある。おそらく担当課でも把握していないと思う。
鉾ヶ崎の堤防は 11.4m となっているが海面からなのか、道路からなのか市民は知らない。	海面ゼロメートルからです。
宮古市の青写真を描くうえで、情報不足である。	(意見)

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
かつてサンマの水揚げは本州一だった。今の市場は受け入れ体制がゼロだ。さんま船が入港しているのに宮古市の漁港は対応できる体制になっていない。さんま船が入港してから職員が出勤するようでは今後の漁港に陰りを見る思いだ。そのため宮古港から引き返し、大船渡港に水揚げしたということも聞いている。震災復興、水産業の復興といっているのは本気なのか見えない。だから宮古は物価が高い。消費者も地元から離れていくのは当たり前だ。	当局に、今晚のような話があったことを伝えま す。

【議員定数について】

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
議員定数については、100 人に聞けばいろいろ様々な意見が出ると思う。今回のような案件を市民に問うのであれば、市民アンケートを実施すべきである。定数に関して内情がわからない。少ないのか、多いのか、このままでいいのか、面積が多いから議員の数が足りないとか、様々な意見があると思う。私はいい仕事を議員にしてもらえれば何も定数を議論する必要がないと思う。	議員定数に関しては、今まで議会運営委員会で議論をしている。旧川井村との合併前は、4 人減員の予定であったが、合併のため、面積も広くなるということで 2 人減の 28 人の定数で今日に至っている。
議員定数問題を参加した 4 人だけで論ずるのは、如何なものか。定数の問題は議員が一番わかっていることであって、どういう理由で定数減なのか。説明願いたい。	どのような理由で定数が減なのかということですが、人口の減少、財政改革として議会歳費の削減があげられます。また、他市の情勢等も考慮のうえ宮古市議会として定数を減少すべきかどうか論じてきた。今回の機会に市民の方々のご意見を伺いたいという趣旨です。 皆さんの意見を伺い、議会運営委員会に反映していきたい。議会運営委員会では減らす方向で議論を進めている。 今までは、定数に一定の基準が設けられていたが現在では基準は何もない。各自治体の考え方というかポリシーにかかっている。 今議会は委員会制で、総務常任委員会、教育民生常任委員会、経済常任委員会、建設常任委員会の 4 つに構成されていてある程度の人数が必要である。 減らすこととなれば、次の選挙から減らすこととなる。
一番は、定数以前に議員としてどう市民に接すべきかが大事だ。例えば、震災の時、議員誰一人と避難所にどういう状況なのか説明に来ませんでした。全く情報が入ってこなかったので広報活動をしてほしかった。	(意見)
議員としての資質の問題だと問われますよ。	(意見)
国会議員、県議会議員もそうだが、地域の代表なのだから、市民のためにやってくれるのか。リーダーとして期待している。	(意見)
歳費がからむが 23 人から 25 人程度にすべきである。	(意見)
市民は少ないとは言わない。多いのではないかという意見がある。ただ、多い少ないは何で判断するか。問題は、地域のために親身になって働いてくれる議員であれば何人であっても良い。	(意見)
議員さんはリーダーとして期待しています。	(意見)

【選挙公営制度について】

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
現宮古市議会議員の選挙の際のポスター印刷の発注先は、地元を使っていない候補者もいる。	公費負担ではないので、安い業者を選定するなど経費節減に努めている。
青森県の六ヶ所村では、選挙は産業だという認識がある。地域経済のため原発に対して反対することができない。	(意見)
ポスター代や燃料代ぐらいは公費で負担すべき。	(意見)
選挙費用は上限を設けて負担することは良いのではないか。	この金額まで出せるという上限は示されており、あくまでも法定得票数を得た候補者が申請できる仕組みである。
今のタイミングで選挙費用の公費負担を出してくるのは如何なものか。今までやってこなかったことを、他市でもやっているからといって負担案について、今出すタイミングではない。身分が決まっていない人の分を出すのもおかしい。総額で考えれば、貴重な財源だ。災害が発生した今の時期に理解を得ることは難しい。	タイミングの問題はあると思います。前回は見送った経緯があります。 前回は特別委員会を設けて議論して提案しましたが否決された経緯がある。
一般論として、簡単に考えれば今まで個人で負担していたものをなぜ今になって税金で負担するのかという疑問を持たれるのではないか。	(意見)
事前に周知して市民の総意を得るべきだ。市民から判断を仰ぐ場合、物事を判断してもらう際のルールがある。アンケート調査を事前に行ったうえで、市民に議会報告会のテーマをはっきりと周知し意見を伺うなどの工夫が必要だ。これは議会報告会の課題ではないか。	公費負担することにより、若い人たちや女性の立候補者がでてくると期待しているわけです。
議会報告会は、毎回毎回参加者が少なくなっている。個々に案内がくる行政連絡員も自治会長もこないでは全く話にならない。自治会長は何十人もいる中で、出席しない要因は何なのか。	今の話は議会で検討していきます。
市民の興味関心がないのか。参加しなくても良いと思っているのか。参加して発言しても市政に反映されることはないと言っているのか。議会報告会そのもののあり方についてアンケートをとる必要があるのではないか。人数が年々尻つぼみになっている現状のままで開催するのは如何なものか。マンネリ化してきていることも歪めない現実ではないか。	(意見)

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 24 年 11 月 14 日（水） 19 時 00 分～20 時 30 分 会場：鯉ヶ崎仮設集会所	11 名	〔4 班〕 坂 下 正 明 中 嶋 榮 横 田 有 平 伊 藤 清 橋 本 久 夫
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
自主財源比率が 23 年度は 14.1%となっている。24 年度の見込みはどうなりそうか。	昨年より多く震災復興交付金が国から来ている。そのため自主財源比率の数字は下がる予定だ。	
議会報告会に地元の議員さんの顔が見えないが。	他地域の議員もいろいろ学ぶために、抽選で班編成して各地に出向いている。理解願いたい。	
水門整備は予定通り進んでいるのか。	ボーリング調査は終了した。詳細設計に入っているので、予定通りだ。	
埋蔵文化財調査が大変だと聞くが。	調査は国の費用で行っている。調査員が不足であることが課題だが、早めの調査を行っているようだ。	
鯉ヶ崎の都市計画事業だが、議会に報告があるのか。	事業認可は来月の 3 月までと聞く。その準備を進めているようなので議会にはまだ報告がない。	
鯉ヶ崎の防潮堤の陸こう計画は 6ヶ所だが、日立浜の方も一ヶ所ほしい。この地区の陸こうまでの距離がありすぎる。	当局に伝える。	
消防分団の配置は今後どうなる。	この際に整理整頓したいと聞いている。まちづくりの計画の中で検討することになっている。	

【議員定数について】

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
議員定数の問題だが、これは 25 年度に決めて 26 年度から行うものなのか。	議会運営委員会の中ではその方向で検討している。そのための意見を皆さんから聞いているところだ。
議員定数は法律か市の条例で決まっているのか。また人口比率か面積比率か。	その時の自治体の現状（合併など）に合わせて定数を見直している。
宮古市は人口比率からいけば全国平均より多く、面積比率からいけば少ない。このような広大な面積の中で、この人数で活動できるのかの問題もある。	（意見）

【選挙公営制度について】

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
任意選挙公営制度とはどのようなものか。	行政が選挙費用を負担する制度だ。
宮古市は今までこの制度（任意選挙公営制度）を適用していなかったのか。	県内 13 市の中で宮古市だけがやっていなかった。
選挙公営制度では立候補者にだいたい 70 万円から 100 万円が支給されると考えていいのか。	その通りです。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 24 年 11 月 15 日（木） 19 時 00 分～20 時 30 分 会場：千徳公民館	9 名	〔 4 班〕 坂 下 正 明 中 嶋 榮 横 田 有 平 伊 藤 清 橋 本 久 夫
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
学校耐震化工事が進められているが、未整備のところでも 3.11 の地震では倒れなかった。まだ整備していないところの見直しの動きはないのか。	まだ 15%位が未整備だ。建築基準法で補強しなければならないとされている。倒れなくても整備していく方針だ。	
一般会計決算だが、このように半年後に出されても結果だけでも意味がないように思う。早く出すべきだ。	以前は 12 月が決算議会だった。今は 9 月に早まった。9 月に決算が出れば来年度の予算要望を出しやすい。また、出納閉鎖が 5 月なので、それを待っての決算にもなっている。	
決算状況を早く見てその年度内に有効に活用していくべきだと思う。	（意見）	
予算の執行率はどうなのか。	23 年度は災害復興工事があり、繰越事業が多くなっている。不用額も多く 60.7%という執行率だ。	
これは災害復旧が遅れているということか。	企業や業者が少なく思うように進んでいないのが現状だ、資材不足の要因もある。	
少子高齢化が進む中で、地域に密着した行政サービスを充実してほしい。公民館などを支所にすることは出来ないのか。支所があれば高齢者も出かけなくても用が足る。支所があれば災害の際にも対応できる。	公共施設の再配置についてはこれから進める計画となっている。 当局にも要望として伝える。	
公営住宅について近内の雇用促進住宅をそれに利用できないのか。ぜひ検討してほしい。	公営住宅の雇用促進住宅の活用はまだ具体的ではない。しかし、それらも含めて総合的に検討しているようだ。	
運動公園（野球場）についての復旧はどう考えているか。松山のし尿処理場裏などの代替地もある。早く見つけてほしい。	当局に要望する。	
千徳大橋の用地問題が解決されたようだが、今後の見込みはどうなるか。	橋は来年の 3 月までに完成する。そこから先は、北環状線につなげていく計画だが、具体的には未定だ。	
千徳地区は約 9,000 人が住んでいるが病院がない。維持が大変な市民病院はいらないが、このエリアにクリニックがほしい。地区センターとかにあっても良い。予防医療のためにも必要だ。	要望として当局に伝える。	
議会報告会に参加者が少ないようだ。回覧板を回しているのか。本日、初めて防災行政無線で聞いた。	広報や議会だより、防災行政無線等で知らせている。参加が低いのは関心度の違いによるものだろう。検討課題としていきたい。	

【議員定数について】

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
定数は４年毎に２人ずつ削減しているが、単純に２人ずつ削減するのではなく、もう少し面積比率も加味して考えるべきだ。人口比では適正ではないと思う。公費の問題は議員歳費と一緒に示すべきだ。今の報酬では若い人の立候補は出来ない。県内でも少ない報酬なので、その点も踏まえて考えるべきだ。これらをセットで出してこないで公費負担への共感は得られないのではないか。	(意見)

【選挙公営制度について】

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
選挙費用の公費負担の公費は、市あるいは国からの交付金対象となるのか。 公費負担を宮古市だけがやっていないのであれば、門戸を広げることにならないのではないのか。	詳細については確認し、報告する。 (後日回答) 公費は、市の単費となる。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 24 年 11 月 16 日（金） 19 時 00 分～20 時 40 分 会場：宮古市役所	13 名	〔4 班〕 坂 下 正 明 中 嶋 榮 横 田 有 平 伊 藤 清 橋 本 久 夫
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
仮設住宅の民間借地は何ヶ所あるのか。無償で借りているのか。	62 団地のうち借地は 20 団地となっている。借地は基本的に無償である。	
公営住宅の目処は立っているのか。	目処が立っている場所は高浜 1 ヶ所だけ。あとはまだ交渉中とのことだ。	
公園管理は町内会だが、仮設住宅を建てるときに前もって話がなかった。ゴミステーションも公園の外にある。それを使用すればいいのに、中に整備した。	(意見)	
茂市の仮設住宅は利用されているのか。無駄ではないのか。	県は全体の 1 割増で仮設住宅を整備した。利便性の良い所から入居しているので、茂市は埋まらなかった。そこで空いている所は、応援職員やボランティア等へ開放してはどうかと議会でも提案した。現在は応援職員らが入居。さらに 15 歳以上の子どもがいる方が分離入居できるようになった。市の広報でも情報発信している。	
自治会長として、仮設住宅の入居者がどんな人か知りたいがプライバシーの問題で断られた。町内としても応援できない。	(意見)	
仮設住宅の自治会長をやっているが誰が入っているかは知らない。社協から教えられないと断れた。	(意見)	
みなし仮設住宅に入った人へ情報や支援が届かない。そうした人たちを集めて声を出せるような組織を作ってほしい。	当局へ伝える。	
近内の雇用促進住宅はこれからどのように活用していく予定か。	雇用促進の活用はまだ具体的には決まっていないが、今後の検討課題となっている。整備費などの問題もあるがいずれ活用される見込みのようだ。	
被災前に、雇用促進住宅を出なければならないのに各部屋に火災報知器をつけた。今だから役立っているがもったいないと思った。	(意見)	
基礎を壊したためその土地の土砂が流れていく。それを埋めて整備するための資金援助、補助金などはないのか。	当局に聞いて回答する。 (後日回答) 現在のところ、補助制度はありません。土のうなどで応急処理してはどうか。	

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
空き地となった所に雑草が繁っている。安全面からも公費で刈り取る事はできないか。	基本的には自治会等でやっていくものだが、要望として当局へ伝える。
議会報告会の案内だが、どのような内容を議論するのか、それらも案内すべきだ。不親切だ。	了解しました。次回課題として協議します。
JR 山田線の復旧問題には、莫大な金額がかかるという。長い目で見れば列車にこだわらず道路網整備にシフトした方が良いという声もあるが、その辺はどうか。私たちもほとんど乗らない。復旧させても将来的にどうなのかも心配だ。	現況は、沿線首長、県を含めて鉄道での復旧が方針となっている。議会のスタンスも鉄道復旧で要望している。

【議員定数について】

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
議員定数は、宮古市は 58,000 人に対して 28 人だ。類似都市 86 市の平均定数は何人か。	平均値で 21.4 人となる。
この数字でやるべきだろう。面積等はない。	(意見)
減らせば良いというものではない。賛成反対いろんな意見があるので、この問題は事前に出して議論していくべきだ。	議会の中では来年 3 月頃までにこの問題の目処をつけていきたい。そのために皆さんからの意見を聞いていきたい。
定数の決定までの段取りは、どういう流れになるのか。	各党派でまず議論して、その結果を議会運営委員会（議運）に答申する。その議運の中で検討していくことになる。最終的な決め方は議運で協議する。
意見を聞く事は良いことだが、まとまらないのではないか。	意見をまとめるということではない。皆さんからの意見、要望を参考にして協議をしていく。
議員定数を前回 30 人から 28 人に減らしたのは地区的、旧町村にも配慮したものか。	小選挙区制ではなく、全体としての削減とした。

【選挙公営制度について】

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
公費問題でポスターは統一して白黒での良いのではないか。カラーより安くなると思う。	(意見)
議員報酬は、宮古市は県内でどの位置にあるのか。	県内では 6 番目の位置にある。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 24 年 11 月 14 日（水） 19 時 00 分～20 時 40 分 会場：崎山公民館	10 名	〔5 班〕 茂 市 敏 之 藤 原 光 昭 落 合 久 三 工 藤 小百合 佐々木 重 勝
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
崎山地区の公営住宅は、何世帯予定しているか。	当初のアンケート調査結果によると、17 世帯と聞いている。さらに意向調査を進めるものと思う。	
1 戸建住宅も含まれているのか。	現在のところ、集合住宅と聞いているが、意向調査等を踏まえ、今後進めていくことになる。	
高台移転に伴う土地の売買について税金面での優遇措置なり証明書などを発行して貰えないものか。	基本的に対象となると思います。	
女遊戸地区より国道 45 号取り付け道路について現在、漁業栽培センターの工場車両により通行に支障をきたしている。幅 1 メートル長さ 400 メートルくらい、寄付により杭が打たれている。その部分を拡幅できないものか	市当局に伝える。	
高台移転の希望をしているが造成後に登記簿謄本等速やかに発行できるものか。	金融機関等に使用する書類発行は速やかに発行されると思います。	

【議員定数について】

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
議員定数については 28 名となっているが实际需要であるか。	定数は 28 名であるが、1 名県議会立候補により、27 名となっている。定数については、各議員会派及び議会運営委員会でも検討しているが、今回市民の皆様よりご意見を賜りたい。
議員定数削減の方向で良いと思う。施設によってはいつ見ても車 1 台駐車のための公共施設もあり、見直しを図る施設、事業があると思う。その上で議員報酬をアップすれば良いと思う。	報酬については経過を見ると長年据え置いており、むしろ引き下げている状況です。いずれ皆様のご意見を踏まえ、報酬審議会で決めることになります。事業、施設の見直しについては今後検討をまいります。

【選挙公営制度について】

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
選挙使用の公費負担は以前よりやっていなかったのか、やるとすればどこで決めるのか。	資料でも示すとおり、県内 13 市の中で当市のみ実施しておりません。若くて優秀な方の議会参画の為にも費用軽減が必要となります。また導入にあたっては議会にて審議されます。

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 24 年 11 月 15 日（木） 19 時 00 分～20 時 55 分 会場：新里福祉センター	13 名	〔5 班〕 茂 市 敏 之 藤 原 光 昭 落 合 久 三 工 藤 小百合 佐々木 重 勝
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
説明のなかで、耕作放棄地について説明がされたが全体でどのくらいあるのか。	最近の調査結果によると全体で 60.1 ヘクタールとなっている。	
一般質問の中で生コンの需要についてあるが、市当局は復旧、復興に伴う大型工事をふまえ、生コン、骨材不足をどのように把握しているのか。また、市内の一部業者は一般には販売していない状況だ。	現在、市内の業者に加え、生コン製造船 2 隻で 31～34 万 m ³ の生産能力と把握している。事業発注等で調整するとともに、骨材不足については閉伊川より採取する段取りと聞いている。	
要望した生コンを地区外より特殊処理のうえ、購入することができる。問題は運送等、コストが高くなることである。コスト高について補填するようお願いしたい。	地区外より購入できるのであれば市当局に伝える。	
遊休農地に関して後継者対策に取り組んでいると説明したが内容は。	新規就農対策として、新規就農者支援及び就農希望者支援、研修生受入農家支援事業等がある。	
遊休農地の具体的解決策はあるのか。	農地パトロールを強化するとともに農地の賃借を進めることが大切となるが当地方の農地は条件が悪く進まない状況である。	
水道会計未納分はどのように対応しているか。	水道会計だけでなく、国保会計等多くの未納があり、督促を進めている。場合によっては資産差し押さえもしている。	
千徳大橋の工事について、地権者 1 名が未了解と聞いているが。	解決済みで供用開始に向け、工事中である。	
骨材に関して伺う。刈屋川の採取についても検討できないか。	採取検討しているようである。	
保健センターの駐車場が狭く不便である。改良を望む。	市当局に伝える。	
耕作放棄地である水田を農業委員会を通じて借用し、耕作しているが農業所得補償が支給されるのか。	耕作当事者に支給されるものと理解します。	
発電機が配置されたが器具備品が揃わず不満である。	市当局に伝える。	
耕作放棄地について他市の利用状況を視察してみたのか。	視察はしていない。	
年 1 回は班を編成して地域で報告会をしてもraitたい。	(意見)	
災害時の情報手段としてラジオが和井内まで聞こえるようにしてもらいたい。	(要望)	

【議員定数について】

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
前回選挙時の人口と比較してどうか。定数削減を希望する。議員定数と面積は関係ないと思う。地方区制度であればわかる。	前回選挙時と比較して 2,110 名減少している。地方区制度の話もあったが、その場合議員の活動が地区に偏りがちになる。
宮古市議会議員の平均年齢は何歳くらいか。	60 代が大半で 50 代は何名もない。
若い年代の議員がいない要因はなにか。	子育て等、生計中心者の若者は見合う報酬なり任期 4 年後の保障がないことも一因ではないか。また選挙の公費負担を実施すれば幾分参画しやすいのではないか。
若い人が出ないというが何が問題か、本当に思うのであれば年配は出馬を見合わせ。後継者を育成すればよいと思う。	(意見)
議員定数を削減すれば、ますます地区に議員が見えなくなる。	(意見)

議会報告会開催結果

日時・会場	参加者数	担当議員
日時：平成 24 年 11 月 27 日（木） 19 時 00 分～20 時 50 分 会場：鉾ヶ崎仮設集会所（第 2 回）	12 名	〔5 班〕 茂 市 敏 之 藤 原 光 昭 落 合 久 三 工 藤 小百合 佐々木 重 勝
質 疑 ・ 意 見 等	答 弁	
鉾ヶ崎の復興計画なり、土地の区画等さっぱり聞いていない。工事の見通しはどうか。	議会としては、最新情報は聞いていない。むしろ皆さんに説明会があったのではないか。	
計画だけで何も進まない。釜石では進んでいるところもあると聞いている。遅いのはなぜか。	当鉾ヶ崎地区は被災規模が多いことに加え防潮堤の新設等、皆さんの意見集約もある。小規模地区は来年度の夏にも着工できるところもある。	
防潮堤はどのあたりに設計され、区画はどのようなになるのか。	海側より 15 メートルの位置で 17 メートル幅の幹線道路がポイントと聞いている。	
決定するのはいつ頃になるのか。	アンケートを集計中と聞いている。12 月 19 日に区画整理説明会が開催されると聞いている。	
市当局の施策により、住宅建築の資金計画が変わる。また、防潮堤が何年でできるかもポイントだ。2, 3 年で出来るとは思われない。	25 年着工と聞く。	
計画図面について説明がない。	今のところ、参考図面である。土地区画整理は来年 4 月に始まると聞いている。	
区画整理は 3 年から 4 年で本当に完成するのか。	来年 3 月に大臣許可を目指して進めている。それに基づき進められる。	
佐原の市営住宅を建設中であるが、被災者も入居できるのか。	現在の建物は老朽化したことから建設中である。まず、現在住んでいる方が優先的に入居し、希望すれば入居可能である。	
県が建てる公営住宅についても土地交渉は市において交渉するのか。	そのとおりです。	

【議員定数について】

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
議員定数については津波被災後でもあり人口は減少しているものの、議員は汗を流して活動すべきだ。現状維持でいいと思う。	(意見)

【選挙公営制度について】

質 疑 ・ 意 見 等	答 弁
選挙カーにて連呼することが果たして良いものか疑問、むしろ広報等で政策を訴えたらどうか。	(意見)
選挙公費負担が宮古だけないのは初耳だ。遅れているのか。	残念ながらそのとおりです。公費負担となれば若い優秀な方も議会参画できる。
宮古の議員は身を削っていると思う。地域のバランスを考慮して選出しても良いのでは。選挙費用は公費負担したほうが良いと思う。	(意見)